令和７年７月

滋賀大学大学院経済学研究科（博士前期課程）

『研究テーマ及び著作リスト』

このリスト（五十音順）は，本学大学院担当教員の研究テーマ及び５点以内の著作リストを選び作成したものです。

出願者は，出願書類の研究計画書の作成と入学後の研究指導教員を選ぶにあたり，このリストを参考にしてください。

ただし，令和８年度入学者選抜に研究指導学生を募集しない教員については，このリストから除いてあります。

また，リストのなかで「著書・編著・共編著」などと表示されているもの以外は，すべて「論文」です。

【各専攻の担当教員は，経済学研究科（博士前期課程）学生募集要項をご確認ください。】

より詳細な研究科の情報を知りたい方は、
滋賀大学研究者情報総覧をご覧ください。
https://researchers.shiga-u.ac.jp/search?m=home&l=ja

青 柳 周 一　　教 授　　博 士（ 文 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

近世日本における旅行史・交通史を中心に研究しています。経済学部附属史料館で収蔵する史料を活用して，近江地域史や近江商人史の研究も行い，最近は近代沖縄から内地へ向かった修学旅行についても研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① （著書）『富嶽旅百景―観光地域史の試み』，角川書店，2002年2月
② 「近世における寺社の名所化と存立構造-地域の交流関係の展開と維持-」，『日本史研究』547号，2008年3月
③ （共編著）青柳周一・東幸代・岩﨑奈緒子・母利美和編『江戸時代近江の商いと暮らし 湖国の歴史資料を読む』，サンライズ出版，2016年3月
④ 「近代沖縄の内地修学旅行記録を読むー1910年『三府十六県巡覧記』について―」，桂島宣弘編『東アジア 遭遇する知と日本ートランスナショナルな思想史の試み』、文理閣，2019年5月
⑤ 「中井源左衛門光基の日記―「諸事日下恵」と「要用記」」，福田千鶴・藤實久美子編『近世日記の世界』、ミネルヴァ書房，2022年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

近世・近代の日本旅行史・交通史・地域史です。近江商人については，商家当主による日記や書状などを用いた経営活動や文化的営為の研究といったテーマであれば指導可能です。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002310_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

赤 塚 尚 之　　教 授

Ⅰ　研究テーマ

IFRS基準（IAS第37号）に基づく引当金（時期または金額に不確実性を有する負債）の会計制度について，1次資料をもとに研究を行っています。国際会計基準審議会（IASB）の新概念フレームワークの適用を前提とした理念的な会計モデルの構築に加えて，実務上の取扱いについても調査も行っています

Ⅱ　著作リスト

① （著書）IASB「2018 年概念フレームワーク」と引当金会計―概念レベル・基準レベルの予備的検討―，滋賀大学経済学部研究叢書第 53 号，滋賀大学,2020 年 12 月
② 引当金（IAS第37号）の測定における不履行リスクの取扱い：割引計算に用いる利子率に不履行リスクを反映すべきか？，彦根論叢435号，滋賀大学，2023年3月
③ 負の低排出車クレジット　：負のクレジットが発生した自動車メーカーに義務は存在するか？，彦根論叢432号，滋賀大学，2022年7月
④ 履行価値による引当金の測定，彦根論叢427号，滋賀大学,2021年03月
⑤ 地方銀行単体の業績指標の価値関連性―業務純益を明示しない損益計算書の様式の妥当性に関して―，現代ディスクロージャー研究17号，日本ディスクロージャー研究学会（現・日本経済会計学会），2018年10月

Ⅲ　指導可能なテーマ

財務会計の制度に関する政策提言型の研究であれば，どのようなテーマであっても指導可能です。日本基準を対象とした研究でも，国際基準・アメリカ基準等を対象とした研究でも指導可能です。著作リストの５には挙げていますが，実証研究（データ分析）や分析的研究（理論研究）については指導対象外とします（必要に応じて，メールでコンタクトを取って希望する研究テーマが指導可能か確認していただいても構いません）。また，税理士試験の科目免除については，確約できません。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002458_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

井 上 俊 克　　講 師　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

マクロ経済学における実証研究，物価指数，高齢化

Ⅱ　著作リスト

① The effect of aging on the age-wage profile in Japan, Journal of the Japanese and International Economies, Volume 66, 101230,(https://doi.org/10.1016/j.jjie.2022.101230), 2022年12月
② Price Index Numbers under Large-Scale Demand Shocks-The Japanese Experience of the COVID-19 Pandemic, Journal of Official Statistics, Volume 38, Issue 1, (https://doi.org/10.2478/jos-2022-0016), 2022年3月
③ ものづくり補助金事業の効果分析：自己申告バイアスとリピーター企業への対応, RIETI ディスカッション・ペーパー, 23-J-014, 2023年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

マクロ経済学に関する研究の指導ができます。また，データ分析をする実証的な研究テーマであればマクロ経済学に限らず指導ができる場合もあります。もちろん分野によっては指導が難しいです。自分の研究テーマが指導可能かどうかを知りたいときには連絡してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003103_ja.html?k=%E4%BA%95%E4%B8%8A
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

大 橋 良 生　　教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

企業の成績表である財務諸表作成の要因やその影響について，主に会計上の保守主義の観点から，公表データに基づいた研究をしています。また，IR活動やM&A活動など企業活動の成果の検証に取り組んでいます。

Ⅱ　著作リスト

① 海外市場への重複上場と損失認識の適時性，『会計・監査研究の展開』同文舘出版，2021年１月
② 会計上の保守主義と株主資本コスト，『会津大学短期大学部研究紀要』75号，2018年3月
③ 上場企業IR部門における社外対応活動－日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として－(共著)，『会津大学短期大学部研究紀要』74号，2017年3月
④ 株式公開買付による経営統合化の短期株価効果(共著)，『高崎経済学論集』，55巻 4号，2013年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

財務諸表等の公表データを用いた統計的分析を交えたタイプの研究であれば対応可能です。会計制度に対する規範的研究は対応不可です。事前にメールにて，希望する研究テーマが指導可能かの確認をお願いします。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003100_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

大濵　巖　　准教授　　博士（数理学）

Ⅰ　研究テーマ

カオスコミュニケーションシステムにおける通信誤差確率の統計的評価

Ⅱ　著作リスト

① Exact Calculation of Bit error Rates in Chaos Communication Systems, 滋賀大学経済学部　Working Paper Series, No.76, February 2003.
② New Approximations of Bit Error Rate in Chaos Shift-keying Systems, 滋賀大学経済学部　Working Paper Series, No.77, February 2003.
③ Exact Calculation of Bit Error Rates in Communication Systems With Chaotic Modulation, IEEE Transactions on Circuits and Systems Ⅰ：Fundamental Theory and Applications, Vol.50, No.11, November 2003.

Ⅲ　指導可能なテーマ

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002421_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

大 村 啓 喬　　准 教 授　　博 士（ 国 際 公 共 政 策 ）

Ⅰ　研究テーマ

紛争研究

Ⅱ　著作リスト

① 「内戦，経済成長，天然資源――天然資源は祝福（blessing）か，呪い（curse）か？」，『国際政治』165号，16－29頁，2011年8月
② “Termination and Recurrence of Civil War: Which Civil War Outcomes Lead to Durable Peace After Civil War”, Japanese Journal of Political Science 12(3): 375-398, 2011年11月
③ “Civil War, Natural Resources, and Democracy: When Do Natural Resources Lead to Civil War?”，『彦根論叢』399号，172－185頁，2014年3月
④ 武力衝突と日本の世論の反応」（大村華子との共著），『レヴァイアサン』54号，70－90頁，2014年4月
⑤ “Natural Resources and the Dynamics of Civil War Duration and Outcome.”, Asian Journal of Comparative Politics ,3(2),133-148, 2018年6月

Ⅲ　指導可能なテーマ

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002478_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

岡 本 大 輔　　特 任 教 授　　博 士（ 商 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

企業評価論，良い企業の条件を定量的・定性的に探る

Ⅱ　著作リスト

① （著書）社会的責任とＣＳＲは違う！，千倉書房，2018 年
② （共編著）企業評価＋企業倫理，慶應義塾大学出版会，2006年
③ （著書）ＡＩによる企業評価，中央経済社，2004年
④ 日本企業のCSP-CFP分析―人工知能を用いた25年後の超長期的関係分析―，『三田商学研究』65巻3号，2022年
⑤ “Social Relationship of a Firm and the CSP-CFP Relationship in Japan: Using Artificial Neural Networks,”，Journal of Business Ethics，Vol.87 No.1，2009年

Ⅲ　指導可能なテーマ

上記研究テーマおよびそれに準ずる領域

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003160_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

岡 本 哲 弥　　教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

自動車産業のサプライチェーンに関する実証研究
顧客満足および消費行動に関する実証研究

Ⅱ　著作リスト

① （共著）『商品開発・管理の挑戦：デザイン，ラグジュアリー，ブランド，社会課題』，晃洋書房，2023年8月
② （単著）『情報化時代の流通機能論』，晃洋書房，2008年3月
③ 「エンジン車と次世代車の部品の関連性－自動車サプライヤーの取引品目の併売分析を通じてー」，『彦根論叢』438号，pp.28-46，2024年1月
④ 「中古車市場における高級車ブランドの価格プレミアムーレクサスはラグジュアリー・ブランドたり得るかー」，『経済論叢』（京都大学経済学会）196巻 4号，pp.41-55，2022年12月
⑤ 「自動車関連企業における電動化の積極性の要因－取扱商品カテゴリーと系列グループの視点からー」，『彦根論叢』431号，pp.4-16，2022年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

マーケティングもしくは流通に関する定量的実証研究
※上記以外の研究領域の指導や定性的研究（事例研究など）の指導は不可。
入学試験合格前には研究計画の指導は行いません。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002456_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

小 野 善 生　　教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

フォロワーの視点に基づく管理者のリーダーシップに関する研究
中小清酒製造業者の戦略転換に関する研究

Ⅱ　著作リスト

① （著書）『フォロワーが語るリーダーシップ-認められるリーダーの研究-』，有斐閣，2016年 12 月
② （著書）『リーダーシップ徹底講座-すぐれた管理者を目指す人のために-第2版』，中央経済社，2025年5月
③ 「清酒製造業における革新Ⅰ：清酒の起源から諸白の登場に至るイノベーションの史的考察」，『彦根論叢』 第429号（4-19頁），2021年10月
④ 「清酒製造業における革新Ⅱ：南都諸白から丹醸そして灘酒に至るイノベーションの史的考察」，『滋賀大学経済学部研究年報』（第29巻1-25頁），2022年12月

Ⅲ　指導可能なテーマ

インタビュー調査や参加観察といった手法を用いたフィールドワークによる定性的方法論を用いた研究あるいは様々な質的資料を分析する事例研究については対応可能である。ただし，定量的方法論を用いた方法論を用いる場合は他の教員を志望することを強く推奨する。経営学における組織行動論・管理者行動論といった主たる研究分野から経営管理論・経営組織論あるいは経営戦略論といった関連する分野まで研究指導が可能である。ただし，マーケティングをはじめとする商学分野については，他の教員を志望することを強く推奨する。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002470_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

笠 井 直 樹　　准 教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

主に，財務諸表監査を担う公認会計士または監査事務所の提供する監査業務の品質の定量化や，現行の監査規制（制度）導入による経済的帰結を公表データに基づき検証しています。会計不正事例の調査も行っています。

Ⅱ　著作リスト

① わが国における非財務情報の監査・保証に関する先行研究のレビュー，日本会計研究学会（日本会計研究学会特別委員会中間報告書），2021 年 9 月
② （著書)「第３章:会計不正の予測と監査人の特徴」瀧博編著『テクノロジーの進化と監査』，同文舘出版（日本監査研究学会リサーチシリーズ・XVIII），2020 年 8 月
③ 監査人の業種特化と監査の品質に関する実証分析―監査事務所および監査担当パートナーのデータを用いた検証，滋賀大学経済学部（Working Paper Series・第287号），2019年1月
④ （著書)「第3部第2章：レビュー業務の経済的効果に関する実証分析（首藤昭信・髙田知実と共著)」松本祥尚編著『監査・証明業務の多様性に関する研究』，日本公認会計士協会出版局（日本会計研究学会スタディグループ報告書），2019年1月
⑤ The Combined Effects of Long Audit Partner Tenure and Audit Fees on Audit Quality: Evidence from Japan，神戸大学経済経営学会（国民経済雑誌・第218巻第1号），2018年7月

Ⅲ　指導可能なテーマ

主に財務諸表監査制度および財務会計制度に関連する実証研究（財務諸表等の公表データに　対して計量経済学のアプローチを援用して分析を行うタイプの研究）であれば対応できます。　監査制度および財務会計制度に対する規範的研究については対応できません。希望する研究　テーマが指導できるか（研究方法論も含めて）については事前にメールで確認してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002459_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

嘉 藤 慎 作　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

グローバル経済の形成過程に広い関心を持っており，近世（16世紀～19世紀中葉）の南アジアを中心とするインド洋の海上交易を主題として①海上交通をめぐる秩序，②在地商人の活動，③東インド会社の活動，④港市・後背地間の関係について研究を進めています。

Ⅱ　著作リスト

① 「ムガル朝におけるオランダ東インド会社と通訳」野田仁（編）『翻訳される信頼』（イスラームからつなぐ3），東京大学出版会，2024年3月
② 「一七世紀アラビア海の海上交通をめぐるポリティクス」，『比較文明』39，2023年11月
③ ムガル朝港市スーラトの船主商人：1685年マラバール海岸への通航をめぐるオランダ東インド会社との係争を中心に，『西南アジア研究』94，2022年6月
④ The Dutch East India Company in the Port City of Surat on the West Coast of India in the Eighteenth Century, Acta Asiatica: Bulletin of the Institute of Eastern Culture, 122, 2022年2月

Ⅲ　指導可能なテーマ

16世紀～20世紀前半にかけての経済史に関わるテーマであれば地域を問わずに指導可能です。史料の丹念な分析に基づく実証的研究を重視します。使用する史料言語については，英語，オランダ語，ポルトガル語，ペルシア語に関しては，手書き史料の読み方を指導できます。そのほかの言語については自ら学習を進めていただくことになります。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003161_ja.html?k=%E5%98%89%E8%97%A4
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

金 谷 太 郎　　准 教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

マーケットマイクロストラクチャーノイズの計量

Ⅱ　著作リスト

① マーケット・マイクロストラクチャー・ノイズがある場合のボラティリティ，推定に関する最近の研究，『滋賀大学ワーキングペーパー』，2009年
② Subsampling Cumulative Covariance Estimator，『滋賀大学ワーキングペーパー』，2009年
③ Nonparametric Methods of Estimating Integrated Multivariate Volatilities (with T. Hoshikawa, K. Nagai, and Y. Nishiyama), Econometric Reviews 27(1-3), 2008年
④ Finite Sample Analysis of Weighted Realized Covariance with Noisy, Asynchronous Observations，『京都大学経済研究所ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝﾍﾟｰﾊﾟｰ』，2007年
⑤ Unbiased Covariance Estimation with Interpolated Data (with R. Reno)，『シエナ大学政治経済学部ワーキングペーパー』，2007年

Ⅲ　指導可能なテーマ

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002444_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

金 山 知 明　准 教 授　博 士（マ ネ ジ メ ン ト）

Ⅰ　研究テーマ

法学の一分野である租税法を研究しています。なかでも特に租税手続法に関心をもち、日本はもちろん、諸外国の制度研究も進めています。また、国際的取引から生ずる税務について、国内法から租税条約までを含め研究を続けています。

Ⅱ　著作リスト

① 「イギリスの申告納税制度導入と税務調査制度の変革 –納税者の「申告確定権」尊重の意義と必要性に関する考察–」，公益財団法人日本税務研究センター「第42回日税研究賞入選論文集」，2019年7月
② 「イギリスの税務調査終了手続としての合意契約 –その合法性と「法の支配」との関係性–」，広島大学マネジメント研究21号，2020年3月
③ 「イギリスの過少申告等に対する制裁金制度の研究 –制度の構造と導入の背景に関する考察–，税法学583号，2020年6月
④ 「申告納税制度下における税務行政の公正と自発的コンプライアンスの研究 ―公正理論とオーストラリアの実例に基づく考察―」，公益社団法人租税資料館「第30回租税資料館賞入賞論文」，2021年11月
⑤ 「企業会計における前期損益修正と法人税法の公正処理基準 －貸金業者の更正請求事件を主題に－」，神戸国際大学 経済経営論集43巻 1号，2023年9月

Ⅲ　指導可能なテーマ

租税法に関するテーマであれば、国内法はもちろんとして、海外（英語圏）の制度や、租税条約、国際的租税制度に関するものでも指導できます。しかし、法学の分野なので、現在のところ、データ分析や統計的分析は扱っていません。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003163_ja.html?k=%E9%87%91%E5%B1%B1
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

可 児 島 達 夫　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

アメリカ，イギリスおよび国際会計基準審議会（IASB）を中心として，資産負債アプローチにもとづいた収益認識や業績報告の変革について，主として財務会計の概念フレームワークと関連づけながら研究を行っています。

Ⅱ　著作リスト

① 顧客対価モデルに基づく収益認識における履行義務の測定，彦根論叢・第 385 号，滋賀大学，2010 年 10 月
② イギリスにおける財務業績の報告と概念フレームワーク，會計・第163巻第6号，森山書店，2003年6月
③ アメリカにおける財務会計概念フレームワークの形成基盤，商学論究・第47巻第2号，関西学院大学，1999年7月

Ⅲ　指導可能なテーマ

財務会計の制度・概念的理論に関する研究であれば指導可能です。日本基準，アメリカ基準および国際基準を対象とした制度研究も指導可能です。実証分析（データ分析）研究は指導できません。当然ながら，原価計算や管理会計の研究も指導できません。必要に応じて，メールでコンタクトを取って，希望する研究テーマが指導可能か事前に確認してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002460_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

川 﨑 兼 人　　講 師　　博 士（ 人 間・環 境 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

宇野理論系のマルクス経済学（政治経済学）として，資本主義経済の原理的構造を研究しています。特に構造変化を理論的に捉えることに興味があり，方法論的な議論にも関心があります。

Ⅱ　著作リスト

① 「流通過程の不確定性と資本の部門間競争」，『季刊経済理論』59巻3号，2022年10月
② 「在庫を含んだ市場の安定性とその変形：競争と情報の仮定を中心として」，『季刊経済理論』57巻2号，2020年7月
③ 「経済の情報化と労働手段体系説」，『唯物論と現代』61号，2019年11月

Ⅲ　指導可能なテーマ

原理論（経済原論）を中心とするテーマであれば指導可能です。研究の具体的内容については事前の相談に応じます。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003104_ja.html?k=%E5%B7%9D%EF%A8%91%E3%80%80%E5%85%BC%E4%BA%BA

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

菊 池 健 太 郎　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

金融工学の見地から研究に取り組んでいます。特に関心のあるテーマは，資産価格モデルの理論構築と実証分析です。

Ⅱ　著作リスト

① 2次ガウシアン多通貨モデルに基づく債券と株式のリスクプレミアムの期間構造, ジャフィー・ジャーナル,23巻,DOI:10.32212/jafee.23.0_22, 2025年4月
② Age-dependent robust strategic asset allocation with inflation-deflation hedging demand, Mathematics and Financial Economics, 18(4) DOI:10.1007/s11579-024-00369-9, 2024年7月
③ A term structure interest rate model with the Brownian bridge lower bound, Annals of Finance, 20(3),DOI:10.1007/s10436-024-00439-4, 2024年4月
④ Quadratic Gaussian joint pricing model for stocks and bonds: theory and empirical analysis, Recent Advances In Financial Engineering 2014: Proceedings of the TMU Finance Workshop 2014, DOI:10.1142/9789814730778_0006, 2016年4月
⑤ 与信ポートフォリオVaRの解析的な評価法：条件付鞍点法による近似計算の理論と数値検証, 日本銀行金融研究所『金融研究』, 26巻別冊2号, 2007年11月

Ⅲ　指導可能なテーマ

ファイナンス理論に根差した領域（「金融経済学」「ファイナンス」「金融工学」のテキストで扱われているテーマ）であれば指導可能です。また、ファイナンス理論とは異なる領域であっても、数理的アプローチが可能な研究テーマであれば指導できる可能性があります。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002441_ja.html?k=%E8%8F%8A%E6%B1%A0%E3%80%80%E5%81%A5%E5%A4%AA%E9%83%8E

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

喜 田 昌 樹　　教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

ビジネス・データサイエンス
経営管理論

Ⅱ　著作リスト

① （著書）ビジネス・データサイエンス入門，白桃書房，2023年12月
② （著書）新テキストマイニング入門―経営研究での「非構造化データ」の扱い方，白桃書房，2018年
③ （著書）ビジネス・データマイニング入門〔増補改訂版〕，白桃書房，2019年
④ （共編著）経営のためのデータマネジメント入門，中央経済社，2018 年
⑤ （著書）組織革新の認知的研究，白桃書房，2007 年

Ⅲ　指導可能なテーマ

経営学領域でデータマイニング（機械学習など）およびテキストマイニングを用いる研究

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002973_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

金　秉基　　教授　　博士（経済学）

Ⅰ　研究テーマ

発展途上国の貧困問題と開発政策、教育開発、農村開発、国際協力と開発援助

Ⅱ　著作リスト

① Does the Export-led Growth Hypothesis Hold for Myanmar?, Global Business Review, 23巻 1号, 2022年2月
② The Relationship Between Energy Consumption and Economic Growth in Myanmar, Asian Development Perspectives, 12巻 2号, 2021年12月
③ 日本の労働力不足と外国人労働力：シリコンバレーの外国人に対する成人教育を事例に，彦根論叢，425巻，2020年10月
④ Does Education Promote Economic Growth in Lao PDR?: Evidence From Cointegration And Granger Causality Approaches, The Journal of Developing Areas,52巻 2号, 2018年1月
⑤ ラオスの農村開発における灌漑設備および道路整備の経済的効果－ビエンチャン県の農村調査から－，国際開発研究,24巻 2号，2015年11月

Ⅲ　指導可能なテーマ

発展途上国の貧困問題と南北問題、経済成長理論、国際貿易と海外直接投資、開発政策、農村開発、教育開発、国際開発協力と政府開発援助（ODA）、東アジアや東南アジア諸国の開発政策などに関するテーマであれば指導可能です。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002434_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

楠 田 浩 二　教 授　Ｐｈ．Ｄ．（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

リスクと不確実性下の消費と投資の最適化
消費に基づく資本資産評価
派生資産評価

Ⅱ　著作リスト

① Strategic international asset allocation under a quadratic model with exchange rate and inflation-deflation risks, Decisions in Economics and Finance, 2025年5月
② Age-dependent robust strategic asset allocation with inflation-deflation hedging demand, Mathematics and Financial Economics, 2024年7月
③ Implementing Arrow-Debreu equilibria in approximately complete security markets, Journal of the Operations Research Society of Japan, 2024年1月
④ Semi-analytical solution for consumption and investment problem under quadratic security market model with inflation risk, Mathematics and Financial Economics, 2022年4月
⑤ Term Structure Models of Interest Rates with Jump-Diffusion Information: Equilibrium, CAPM, and Derivative Asset Pricing, Department of Economics, University of Minnesota, 2003年10月

Ⅲ　指導可能なテーマ

経済学・ファイナンスの理論・実証分析、深層学習の経済学・ファイナンスへの応用

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002442_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

後 藤 雅 敏　 特 任 教 授　 博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

財務会計

Ⅱ　著作リスト

① Short-Termism, Excessive Executive Compensation, and the Discounting Traits of Managers - by Using fMRI Experiment, Universal Journal of Accounting and Finance, vol.8(1), pp. 1-20, 2020年

Ⅲ　指導可能なテーマ

会計情報と証券市場の関わりを検証した研究。広く，実験分析と実証分析に関する会計研究だったら，指導することが出来ます。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003164_ja.html?k=%E5%BE%8C%E8%97%A4%E3%80%80%E9%9B%85
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

後 藤 良 介　　准 教 授　　博 士（ エネルギー科学 ）

Ⅰ　研究テーマ

専門分野は，エネルギー経済学，エネルギーシステム学，経営データ分析です。機械学習やシミュレーションなど定量的手法を適用し，エネルギーに関する企業の戦略・意思決定や，再エネ移行期に望ましいシステムの研究に取り組んでいます。

Ⅱ　著作リスト

① Analyzing the influence of web search behavior on electricity market price: a case study of Japan electric power exchange, Journal of Computational Social Science, 2024年4月
② Study on Behavioral Decision Making by Power Generation Companies Regarding Energy Transitions under Uncertainty, Energies, Vol.15 (2), 2022年1月
③ Framework and Evaluation of the Conditions for Companies to Engage in Renewable Energy Transitions under Constraints of Existing Infrastructure, Graduate School of Energy Science, Kyoto University, 2021年9月
④ 財務諸表及び経営指標を用いた企業のエネルギーシフト 可能性に関する研究，エネルギー・資源，41巻 6号，2020年9月
⑤ 既設発電設備更新制約を考慮した再生可能エネルギー大量導入時の電源構成に関する研究，エネルギー・資源，41 巻 2 号，2020 年 2 月

Ⅲ　指導可能なテーマ

エネルギー分野に関わらず，企業の戦略・意思決定や社会課題・システムについて，データサイエンス領域の定量的手法(機械学習・統計学・シミュレーション等)を適用する研究テーマであれば，幅広く指導可能です。
現時点では，定性的研究にはあまり取り組んでいませんが，エネルギー関係はドメイン知識が豊富なため，事例研究などの指導が可能な場合もあります。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003101_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

近 藤 豊 将　　教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

財政の維持可能性についてマクロ動学理論を援用した研究を行っています。また、経済の均衡を近似するためのアルゴリズムや均衡の存在問題に関連する不動点の存在定理の研究も行っています。いずれの研究でも確固とした数理的基礎を重視しています。

Ⅱ　著作リスト

① Mean convergence theorems using hybrid methods to find common fixed points for noncommutative nonlinear mappings in Hilbert spaces, Journal of Applied Mathematics and Computing, 2022年
② Strong convergence to common fixed points using Ishikawa and hybrid methods for mean-demiclosed mappings in Hilbert spaces, Mathematical Modelling and Analysis, 2023年
③ On the iterative scheme generating methods using mean-valued sequences, Carpathian Journal of Mathematics, 2024年
④ Iterative scheme generating method beyond Ishikawa iterative method, Mathematische Annalen, 2025年
⑤ Introduction to Halpern-type strong convergence theorems to solve fixed point problems, Rendiconti di Matematica e delle sue applicazioni, 2025年

Ⅲ　指導可能なテーマ

財政・金融のマクロ経済学的な分析であれば、指導可能です。ただし、経済理論の論文を読めるようになってもらう必要があるので、そのためのトレーニングは（数理的なものも含めて）こなしてもらいます。また、数理経済学も指導可能ですが、解析学を応用した研究に限定させてもらいます。いずれの研究を志向する場合でも、修士1年生の時は好きな研究はできません。基礎トレーニングをみっちりこなしてもらいます。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002446_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

近 藤 紀 章　　講 師　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

財政専門分野は都市デザイン、土木計画です。持続可能な地方都市の実現のために、計画学的な視点から、統計分析によるモデル化を基盤とした現象理解と、施策の社会実装に取り組んでいます。主な研究テーマは以下です。
・モビリティ：徒歩・自転車の利用推進、公共交通の再構築
・パブリックデザイン：道路、公園、緑地、水辺など公共空間の利活用

Ⅱ　著作リスト

① まちづくり意識に対する住民の主観評価と推論評価の比較，都市計画論文集，Vol.58，No.3，pp.555-561，2023年
② 生活道路の空間再編が交通静穏化と身体活動の促進に与える影響-オレゴン州ポートランドにおけるNeighborhood Greenwaysを対象として，都市計画論文集，Vol.57 No.33 pp.1295-1300，2022年
③ 「散歩」研究の拡がりは、都市デザイン・政策にどのような影響を与えたのか？，都市計画報告集，Vol.20，No.4，pp.448-455，2022年
④ 社会属性と地域特性が将来居住地選択に与える影響に関する研究，都市計画論文集，Vol.54，　No.3，pp.766-771，2019年
⑤ 生活意識構造の特性をふまえたペットの飼い主による社会参加の可能性，土木学会論文集G(環境)，Vol.75，No.6，pp.Ⅱ59-67，2019年

Ⅲ　指導可能なテーマ

上記のテーマだけでなく、広い意味での「まちづくり」に関わるテーマを幅広く受け入れることが可能です。現場での活動や実践的な研究も歓迎します。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003080_ja.html?k=%E8%BF%91%E8%97%A4%E3%80%80%E7%B4%80%E7%AB%A0
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

坂 田 雅 夫　　教 授　　博 士（ 法 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

世界貿易機関（WTO)、自由貿易協定、投資協定などを中心に、世界経済の制度的側面について研究している。

Ⅱ　著作リスト

① EU諸国間投資協定仲裁のEU法適合性問題，滋賀大学経済学部研究年報27号，2020年12月
② 投資協定仲裁における国内法の位置づけ　－事実論を再考する－，国際法外交雑誌117巻4号，2019年3月
③ 投資協定仲裁における 先住民族権利問題，彦根論叢405号，2015年9月
④ 公正衡平待遇条項の適用実態，日本国際経済法年報23号，2014年10月
⑤ 国際法における株主の保護，彦根論叢397号，2019年9月

Ⅲ　指導可能なテーマ

国際経済法を中心に国際法一般。世界貿易機関（WTO）や世界銀行などの国際経済機構。自由貿易協定。投資保護協定。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002486_ja.html?k=%E5%9D%82%E7%94%B0%E3%80%80%E9%9B%85%E5%A4%AB

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

佐 野 洋 史　　教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

経済学の手法を用いて，日本の医療・福祉供給体制に関する問題の原因究明と解決策の導出に取り組んでいます。近年では，産科・小児科等の医師が最も重視する勤務条件について，医師の勤務先の選択行動データを分析して研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① Association between age factors and strategies for promoting participation in gastric and colorectal cancer screenings. BMC Cancer,Vol.18, No.1, pp.1-9, 2018年3月
② Does lack of resources impair access to breast and cervical cancer screening in Japan?, Plos One,Vol.12, No.7, pp.1-16, 2017年7月
③ へき地の勤務条件に対する大都市の内科系勤務医の選好，『日本労働研究雑誌』No.680, pp.86-101, 2017年2月
④ 介護保険外サービス需要の決定要因，『季刊家計経済研究』No.99, pp.52-61, 2013年7月
⑤ 医師の就業場所の選択要因に関する研究,『季刊社会保障研究』Vol.45, No.2, pp.170-182, 2009年9月

Ⅲ　指導可能なテーマ

日本や外国の社会保障（医療，福祉，年金，育児，労働，貧困等）の問題について，経済学の手法で分析する研究であれば，どのようなテーマであっても指導可能です。希望される研究テーマ・計画が指導可能であるかを，メールで問い合わせていただいても構いません。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002428_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

澤 木 聖 子　　教 授　　博 士 （ 学 術 ）

Ⅰ　研究テーマ

人的資源管理、異文化間マネジメント
（多国籍企業における国際人的資源管理、会社文化の経営人類学的研究）

Ⅱ　著作リスト

① 「日本企業の介護離職ゼロに向けた人的資源管理の課題」，北隆館『地域ケアリング』巻 18 号 10　71-74，2016 年 9 月
② （共編著）「大連日系企業における日本語人材の活用と課題」，小田野純丸・北村裕明編著 分担執筆『経済経営リスクの日中比較』サンライズ出版244-257，2009年9月
③ （共編著）『英語で経営する時代』，吉原英樹・岡部陽子・澤木聖子　有斐閣，2001年9月
④ 「グローバル化と経営者の英語感覚」，『グローバル経営』（社）日本在外企業協会，2002 年 1 月
⑤ （共編著）「企業における国際人材育成」，原岡一馬・若林満編著 分担執筆『組織コミュニケーション-個と組織との対話-』福村出版，1993 年 3 月

Ⅲ　指導可能なテーマ

日本の国内外の企業組織の人材マネジメントに関するテーマについて取り扱います。働く個々人の職務意識から経営の国際化に伴う人的資源管理や組織文化の変容など，個人と組織の双方の視点に関心があります。
また，開発途上国の人材開発や教育についても指導可能です。学部教育では，「経営管理論」，「人的資源管理」の科目を担当しているため，これらの基礎学力の習得を前提とした学生を歓迎します。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002451_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

柴 田 淳 郎　　准 教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

経営戦略，経営管理，企業統治及び地場産業・伝統産業に関する国際比較経営制度に関する研究

Ⅱ　著作リスト

① 「日本型スピンオフ戦略の形成プロセスと論理－日本陶器合名会社の事例分析－」，日本経営学会誌 22 巻，2008 年 10 月
② 「地場産業のビジネスシステムと競争行動－九谷焼産地と瀬戸焼産地の人材育成システムに焦点を合わせて－」，国民経済雑誌197巻4号，2008年4月
③ 「企業間協働と会社制度－有田焼産地の事例分析－」，国民経済雑誌197巻2号　2008年2月
④ （共編著）「国際移転におけるコンテクストの共有－技術特性に対応した「適用・適応」－」，国民経済雑誌 196 巻 2 号　2007 年 8 月
⑤ 「陶磁器産業における会社制度に関する研究」，神戸大学大学院経営学研究科，2006 年 3 月

Ⅲ　指導可能なテーマ

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002450_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

新 久 章　　准 教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

高次元データの分析手法について研究しています。特に、高次元線形回帰モデル（説明変数がたくさんある線形回帰モデル）における統計的推測について興味があります。

Ⅱ　著作リスト

① Forward selection for feature screening and structure identification in varying coefficient models, Sankhya A, 85巻 (https://link.springer.com/article/10.1007), 2023年
② Testing heteroskedasticity in high-dimensional linear regression, Econometrics and Statistics, (https://doi.org/10.1016/j.ecosta.2023.10.003), 2023年10月
③ Small tuning parameter selection for the debiased Lasso (with Naoya Sueishi), Journal of Business & Economic Statistics, (https://doi.org/10.1080/07350015.2024.2439892), 2025年1月

Ⅲ　指導可能なテーマ

統計学や計量経済学に関係する研究テーマであれば，指導可能です。希望される研究テーマが指導可能かどうか，事前にメール等で相談していただけると幸いです。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003102_ja.html?k=%E6%96%B0%E4%B9%85
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

鈴 木 清　 特 任 教 授　 博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

収益最大化・コスト最小化戦略の解法技術を研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① Infinite-Horizon Optimal Switching Regions for a Pair-Trading Strategy with Quadratic Risk Aversion Considering Simultaneous Multiple Switchings: A Viscosity Solution Approach, Mathematics of Operations Research 46(1),336-360 (https://pubsonline.informs.org/doi/10.1287/moor.2020.1059), 2021年2月
② Optimal pair-trading strategy over long/short/square positions-empirical study, Quantitative Finance 18(1) 97-119 (https://www.tandfonline.com/doi/pdf/10.1080/14697688.2017.1346277), 2018年1月
③ Optimal switching strategy of a mean-reverting asset over multiple regimes, Automatica 67 33-45 (https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0005109815005555?via%3Dihub), 2016年5月
④ Optimal tracking for asset allocation with fixed and proportional transaction costs, Quantitative Finance 4(2) 233-243 (http://www.tandfonline.com/doi/pdf/10.1080/14697680400000027), 2004年4月
⑤ （共編著）金融工学辞典, 東洋経済新報社(https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784492010556), 2001年9月

Ⅲ　指導可能なテーマ

● 金融技術系：

金融市場実証分析（株式, 国債, 為替, 投信, オルタナティブ, 指数, 先物, オプション, 海外市場）、企業価値評価、リアルオプション、株式・債券投資戦略、ファクター・モデル、リターン予測モデル、時系列モデル、機械学習、企業金融イベント・スタディ、マーケット・マイクロストラクチャ、派生証券価格付け、倒産確率モデル、コア預金モデル

● オペレーションズリサーチ系：

ポートフォリオ最適化、最適投資戦略、確率制御理論、動的最適化

● データサイエンス基礎理論：

数理統計、多変量解析、計量経済、確率論、確率過程論、データ構造とアルゴリズム、金融データベース

● IT系基礎技能：

ポートフォリオ運用システム設計・構築、金融リスク管理システム、
プログラミング：Fortran, C, C++, Python, Perl, S-Plus, R, Excel VBA, SQL(Oracle, Sybase, Access)

● 実務家教員として：

証券アナリスト業務、クォンツアナリスト業務、為替ディーリング、金融マーケッティング、金融コンサルタント、中央省庁業務、海外駐在業務等

事前コンタクト可能

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003142_ja.html?k=%E9%88%B4%E6%9C%A8%E3%80%80%E6%B8%85

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

竹 村 幸 祐　　教 授　　博 士（ 文 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

社会心理学が専門です。一人ひとりの人間は日々の生活の中で自由に振る舞えるわけではなく，社会生活の中で色々な制約を受けますが，こうした制約はどこから来るのでしょうか？人間が社会を作り，その中で生きることで生じる影響を，社会心理学の実験・調査などを使って研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① Being different leads to being connected: On the adaptive function of uniqueness in ″open″ societies, Journal of Cross-Cultural Psychology, 45, 1579-1593, 2014 年 11 月
② Contextual effect of wealth on independence: An examination through regional differences in China, Frontiers in Psychology, 7, Article 384, 2016年3月
③ Farming cultivates a community-level shared culture through collective activities: Examining contextual effects with multilevel analyses, Journal of Personality and Social Psychology, 116, 1-14, 2019年1月
④ Assessing the social atmosphere: A multilevel analysis of social connection and participation, Cities, 154, 105408, 2024年11月
⑤ Paradoxical effects of community social cohesion on mental health and help-seeking among older adults: The role of reputation concern and socioeconomic status, Social Science & Medicine, 2025年5月

Ⅲ　指導可能なテーマ

社会心理学の研究テーマであれば、全般的に指導可能です。特に専門としているのは、文化（e.g., 心理の日米差）、集団過程（e.g., 協力、信頼、集団間関係）です。研究手法は、実験・質問紙調査・公開データ分析（一部）です。メールで希望する研究テーマが指導可能か確認していただいて構いません。なお、消費者心理学は専門外です。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002480_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

田 中 勝 也　　教 授　　Ｐｈ．Ｄ．（環境・資源経済学）

Ⅰ　研究テーマ

本研究室では、持続可能な都市環境の実現に向けたデータ分析を推進しています。重点トピックは（1）災害への備えと都市のレジリエンス、（2）グリーンインフラによる都市の緑化と防災・温暖化適応策、（3）スマートモビリティ（自動車と歩行者・自転車の共存、公共交通と自転車のモビリティミックス、ライドシェアの経済分析など）、（4）上記3項目を通じた地域活性化、の4点です。これらのテーマに関心のある方を歓迎します。

Ⅱ　著作リスト

① （共著）Public preferences for flood warning improvements: An inferred valuation approach addressing social desirability bias. International Journal of Disaster Risk Reduction, 126:105571. 2025年
② （共著）Farmers’ Adoption of Water Management Practice for Methane Reduction in Rice Paddies: A Spatial Analysis in Shiga, Japan. Sustainability, 17(8), 3468. 2025年
③ （共著）Residents’ preferences on green infrastructure in Wuhan, China. Sustainability 16(23):10303. 2024年
④ （共著）Extreme Heat Vulnerability among Older Adults: A Multi-level Risk Index for Portland, Oregon. The Gerontologist. 64(3): gnad074.2023年.
⑤ （共著）Citizens’ preferences on green infrastructure practices and their enhancement in Portland, Oregon. Journal of Environmental Management. 318:115415. 2022年

Ⅲ　指導可能なテーマ

上記の研究テーマに関連するトピックであれば指導可能です。ミスマッチを避けるため、受験を希望する方は事前にメールで相談してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002299_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

田 中 英 明　　教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

マルクス経済学を基盤として，決済・信用機構を中心とした市場機構の歴史的な展開と理論的な把握について研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① （著書）信用機構の政治経済学－商人的機構の歴史と論理，日本経済評論社，2017年2月
② Interbank organization and central banking: Beyond M. Itoh’s contribution to the theory of credit and crisis, The Japanese Political Economy, 50(2). (https://doi.org/10.1080/2329194X.2024.2397343)，2024年9月
③ 商人のネットワークとクラブ型組織の形成する決済・信用機構，信用理論研究40号，2023年5月
④ 現代の貨幣と「現代貨幣理論」－中央銀行貨幣の債務性をめぐって，経済志林89巻 2号，2022年3月
⑤ 商品の「資本性」-空所の純粋性から，彦根論叢382号，2010年1月

Ⅲ　指導可能なテーマ

マルクス経済学に基づく制度的・進化的なアプローチによる資本主義経済の研究であれば，基礎理論的な研究から，歴史的な発展・変容を踏まえた現代資本主義分析まで指導可能です。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002416_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

谷 上 亜 紀　　教 授　　博 士（ 行 動 科 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

認知心理学 （主として記憶，メタ記憶，誤記憶など）

Ⅱ　著作リスト

① 数量表現の理解に文脈が及ぼす効果，滋賀大学経済学部研究年報(27)，2020年
② 文章の書体が読みやすさと記憶に及ぼす影響，彦根論叢（422)，2019年
③ cryptomnesiaに関する研究の動向，心理学研究（89），2018年
④ 他者による文章の適切な使用に関する大学生の知識，彦根論叢(404)，2015年
⑤ 問題の難易度に関する情報が確信度判断およびFOK判断に及ぼす効果，心理学研究（73），2002年

Ⅲ　指導可能なテーマ

実験・調査等，心理学的な方法でアプローチできるテーマならある程度指導可能だと思います。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002494_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

谷 川 義 行　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

一般均衡理論を主とするミクロ経済学, 数理経済学

Ⅱ　著作リスト

① 「無限次元財空間における経済の一般均衡存在定理について」, 『一橋論叢』1996年6月号
② “On the Existence of Walrasian Equilibrium in Large Square Production Economy－ A Model of Commodity Differentiation－”, RUEE Working Paper#98-73 一橋大学経済学部, 1998年1月
③ 「非完備条件付き財市場における一般均衡存在命題－無限期間／無限分岐に纏わる諸問題を中心として－」, 『彦根論叢』第316号, 1998年12月 ／ 第318号, 1999年3月 (2分冊)
④ “Increasing Returns and Externalities－An Equilibrium Existence Theorem －”, Working Paper#56　滋賀大学経済学部, 1999年1月
⑤ “Analytic Approach for the Walrasian　equilibrium Existence Theorem”, Working Paper#301 滋賀大学経済学部, 2020年10月

Ⅲ　指導可能なテーマ

一般均衡理論を中心とするミクロ経済学・数理経済学。理論の数理的側面の追求が主です。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002417_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は, 入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

陳　韻如　教授　博士（経済学）

Ⅰ　研究テーマ

経営戦略や組織間関係を専門としています。特に，ICT産業の競争力に焦点を当て，グローバル市場における日本と東アジア企業との競争優位の逆転現象・原因をめぐって，組織間関係などの切り口から既存の競争理論に対して新しい分析方法を提案し探索しています。

Ⅱ　著作リスト

① （共編著）「中国企業の雇用・人事管理のダイナミクス ： テキスト分析による国有企業と民営企業の比較への試み」，『龍谷大学経営学論集』61 巻 4 号，2022 年
② 「日本のエレクトロニクス企業の 復活の可能性 テキスト分析によるパナソニックの経営改革への俯瞰」，『彦根論叢』 423号，2020年
③ （共編著）"A Study on Ambidextrousness of R&D Organization on ICT Companies", International Conference on Industrial Engineering and Engineering, Management proceedings, 2020年
④ （共編著）「中国スマートフォン企業の戦略のダイナミクス」，『滋賀大学環境総合研究センター研究年報』Vol.15, No.1, 2018 年
⑤ 「新技術の形成における新旧技術・組織の調整ーパナソニックの「レッツノート」のケーススタディ」，『九州国際大学社会文化研究所紀要』第 64 号，2009 年

Ⅲ　指導可能なテーマ

経営学のうち，組織や戦略，国際比較に関するテーマであれば基本的に理論研究も実証研究も指導可能です。指導可能な範囲は経営学全般と言えるかもしれませんが，製品を対象とするマーケティングは専門外で指導が難しいです（日本ではマーケティングやブランド戦略等は経営学のアプローチや学問体系と違いますのでご注意ください）。必要に応じて，メールで希望する研究テーマが指導可能かどうかを事前に確認していただければと思います。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002453_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

冨 田 健 一　　准 教 授　　博 士 （ 工 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

誤り制御方式に関する研究

Ⅱ　著作リスト

① Reduced Comprexity Iterative Decoding Using a Sub-optimum Minimum Distance Search IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E86-A, No.10, pp.2596-2600, October 2003

② A soft-decision iterative decoding algorithm using a top-down and recursive minimum distance search
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E85-A, No.10, pp.2220-2228, October 2002

③ An Efficient Evaluation Method of the Block Error Probability by Using an Importance Sampling Technique
Proceedings of 2000 International Symposium on Information Theory and Its Application, pp.172-175, Honolulu, Hawaii, November 5-8,2000

④ An Evaluation Method of the Block Error Probability by Using a Low-Weight Sub-Trellis Diagram
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E80-A, No.11, pp.2104-2110, November 1997

⑤ An Improved Union Bound on Block Error Probability for Closest Coset Decoding
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E78-A, No.9, pp.1077-1085, September 1995

Ⅲ　指導可能なテーマ

情報理論・符号理論他

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002477_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

内 藤 雄 志　　准 教 授　　博 士 （ 経 営 工 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

協力ゲーム理論の配分解の性質に関する組合せ最適化問題などを研究課題としています。

Ⅱ　著作リスト

① （共著）A note on the Frank-Tardos bi-truncation algorithm for Crossing-submodular functions, Mathematical Programming Vol.53　361-363, 1992 年 2 月
② （共著）A Greedy Algorithm for Minimizing a Separable Convex Function over an Integral Bisubmodular Polyhedron, Journal of the Operations Research Society of Japan Vol. 38 No. 3　362-375, 1995年9月
③ （共著）On some properties of the ε-core of games with coalition structure, International Journal of Game Theory Vol. 28 Issue 2　253-255, 1999年5月
④ Convexity and d-revised link-convexity of restricted games on some intersecting family, Working Paper Series No. 185, Faculty of Economics　Shiga University, 2013年2月
⑤ （共編）A First Efficient Algorithm for Enumerating All the Extreme Points of a Bisubmodular Polyhedron, （https://arxiv.org/abs/2405.01039）, 2024年5月

Ⅲ　指導可能なテーマ

ゲーム理論関係では協力ゲーム理論の分野，数理計画関係では組合せ最適化，いずれも基本的には数理的な理論研究です。微分積分，線形代数，確率統計を一通り履修していても，希望する研究テーマが指導可能かどうか，事前にメールでコンタクトを取って確認してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002469_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

中 津　陽 介　　講 師　　博 士 （ 商 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

従業員の公正感
非倫理的な向組織行動
従業員が職場で経験する退屈
仕事役割の隙間に生じるモラル・グレーゾーンにおける従業員行動
職場のDXに対して従業員の感じる恐怖　など

Ⅱ　著作リスト

① 「従業員の抱く包括的公正が仕事行動におよぼす影響：社会的交換理論と組織的同一化理論に注目して」，一橋大学・博士論文，2023年3月
② 「組織的公正研究の概念的展開：包括的公正のパースペクティブ」，本労務学会誌，22巻2号（頁 41～55），2021年
③ （分担執筆・共著）「パフォーマンス・マネジメント―業績と成長の循環を生む人事評価コミュニケーション（コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社）」
江夏幾太郎・服部泰宏・石山恒貴（編著）『人材マネジメントの革新 － 理論を読み解くための事例集』，千倉書房，2025年3月
④ （分担執筆・単著）「人事評価プロセスの実態」，「待遇における均等・均衡」
江夏幾多郎，岸野早希，西村純，松浦民恵（編著）『新・マテリアル人事労務管理』，有斐閣，2023年12月

Ⅲ　指導可能なテーマ

いわゆるヒトのマネジメント（人的資源管理論/組織行動論）に関する領域を中心に、経営組織論・経営戦略論を含む一般的な経営学領域に関して指導を承ります。ただし、企業組織を対象にした経済学や狭義の商学（マーケティング論など）、会計学に関連するテーマについては専門外ですので指導はできません。

方法論に関しては定量・定性・ケーススタディなど幅広く受け容れます。ただし、私は手法の専門家ではないので最新の統計的技法などを習得したい場合は自分で勉強するか、他の先生の指導を仰いでください（可能な限り教員もフォローします）。

上記の通り、指導可能なテーマや手法についてはかなり幅広い領域を指定していますが、これは教員が学生に1から10まで指示を出して論文を完成させられるということではありません。「指導可能」、すなわち学生に進む道を示し、ゴールまで導くことができるということを意図しています。進む方向が定まっていない学生や、進むための時間や気力・労力を十分に確保できない学生の指導はできません。お互いにとってためにならない可能性が高いので、そのような方はできれば希望しないでください。

研究テーマ等に関して事前に教員に連絡を取りたい場合は、入試課に連絡をしてください。アポイントメントを取っていただければ研究計画の作成に関する相談も承ります。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003143_ja.html?k=%E4%B8%AD%E6%B4%A5

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

中 野　桂　　教 授　　Ｐｈ．Ｄ．（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

応用ミクロ経済学を中心とした研究。テーマは，産業組織論，産業政策論，環境，医療，まちづくりなど多岐にわたる。

Ⅱ　著作リスト

① コミュニティへの関与実態と関与意向が居住地選好に与える影響，環境情報科学論文集，33巻 （頁347～352），近藤　紀章、中野　桂、田中　勝也，2019年11月
② ソーシャル・キャピタルが地方創生に与える影響 -市区町村GIS データによる空間計量経済分析-，経済分析197号 （頁53～69），田中勝也，中野桂，道上浩也，2018年3月
③ 持続可能性指標における効率性と衡平性-エコロジカル・フットプリントを中心に-，環境科学会誌，22巻 4号，2009年7月
④ 彦根市における出産環境の現状と課題-地域共同需要の充足のための制度設計にむけて-，彦根論叢，370巻 （頁23～45）、金森京子、只友景士、中野桂、吉川英治，2008年1月
⑤ （共編著）競争の戦略と政策（第 5 章，第 6 章をともに川濱昇氏と共著），有斐閣，柳川隆・川濱昇編，2006 年

Ⅲ　指導可能なテーマ

研究テーマに掲げた事項にかかる理論的，実証的分析などについて指導可能である。詳細については応相談。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002429_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

野 田 昭 宏　　教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

・会計基準のグローバル化が企業行動に及ぼす影響
・不均質選好市場における企業の報告マネジメント
・企業の戦略的サステナビリティ報告（Greenwashing）
・会計情報にもとづく経営者インセンティブの設計

Ⅱ　著作リスト

① Quality choices in corporate social responsibility reporting under heterogeneous investor preferences, Journal of Accounting and Public Policy 47 (107228) [査読有], DOI: 10.1016/j.jaccpubpol.2024.107228, 2024年9月
② Auditor choice as a commitment device, Journal of Financial Reporting and Accounting 16 (3),374－394. [査読有], Doi: 10.1108/JFRA-05-2017-0036, 2018年9月
③ 「環境負債開示の動学分析：レプリケータ・ダイナミクスによる自発的情報開示の安定性解析」,『年報 経営ディスクロージャー研究』第12号1-18頁。[査読有], 2013年3月
④ 「環境負債認識におけるコミットメントの機能－推定的債務認識の分析－」,『社会関連会計研究』第25号45-61頁。[査読有], 2013年11月
⑤ 「資産除去債務会計が環境コストに及ぼす影響」,『環境経済・政策研究』第4巻第2号1-11頁。[査読有], 2011年9月

Ⅲ　指導可能なテーマ

ディスクロージャー政策，経営者業績評価，およびサステナビリティ会計に関するテーマにアプローチします。なお，定性的研究（歴史研究，フィールド観察，資料解釈，事例研究等）とそれに関連する研究テーマ（会計（学説）史，会計制度論，会計概念の検討等）は扱いません。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002467_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

能 登　真 規 子　　教 授

Ⅰ　研究テーマ

債務保証，身元保証，扶養義務に関する問題を通じて，わが国の家族連帯のありようと法制度の関係について研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① 「個人保証に依存しない入院・入所慣行の確立に向けて」，実践成年後見107号18-25頁，2023年11月
② 「高齢者サポート契約の内容」，滋賀大学経済学部研究年報28巻53-73頁，2021年12月
③ 「入院・入所時の身元保証」，滋賀大学経済学部研究年報26巻39-66頁，2019年11月
④ 「現代の身元保証（6・完）―2012年度実態調査 ―」，『彦根論叢』404号46-63頁，2015年6月
⑤ 「身元保証の裁判例(2・完)―過去20年間の裁判例の検討 ―」，『彦根論叢』393号50-65頁，2012年9月

Ⅲ　指導可能なテーマ

民法学

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002489_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

林　孝宗　准教授　博士（社会科学）

Ⅰ　研究テーマ

会社法の領域で、比較法の手法を用いて、会社の社会的責任に関して研究しています。現在は、会社の社会的責任のなかでも、会社の政治活動をどのように法的に規律すべきかを研究しています。その他にも、金融商品取引法の領域の研究もしています。

Ⅱ　著作リスト

① 英米における株式会社の政治活動と法規制：株主の利益保護の観点からの検討，比較法学58巻2号，2024年12月
② 会社の政治献金，判例時報社デジタルライブラリーサブスク「ロージャーナル」（2024年9月14日掲載），2024年9月
③ 個人投資家だって「プロ」になりたい！：特定投資家制度の再検討，法学セミナー69巻8号，2024年8月

Ⅲ　指導可能なテーマ

会社法または金融商品取引法領域のテーマであれば、日本だけではなく、海外の法制度（英語圏）でも指導可能です。ただし、統計分析等を用いた研究は指導できないので注意してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003288_ja.html?k=%E6%9E%97%E3%80%80%E5%AD%9D%E5%AE%97

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

坂 野　鉄 也　 教 授

Ⅰ　研究テーマ

ラテンアメリカ（パラグアイ・メキシコ）・日本をフィールドとして、西欧の浸潤に対する人々のリアクションに関する研究をしている。

Ⅱ　著作リスト

① La migración de los indígenas en Paraguay del siglo XVI: un ejemplo de una mujer indígena, Centro paraguayo de estudios sociológicos (Revista Paraguaya de Sociología Vol.42 Núm. 122-123, pág. 193-202), 2005年
② El PODER POLÍTICO Y LOS JEFES EN LA SOCIEDAD GUARANÍ: Entre el paradigma de Pierre Clastres y el análisis de las figuras presentadas en los documentos del siglo XVI, 滋賀大学経済学会（『彦根論叢』（380）、27-47頁）, 2009年9月
③ 16世紀パラグアイのヤナコナ：スペイン人の家産内に住まうインディオたち, 史学会（『史学雑誌』119（2)、1-34頁）, 2010年2月
④ 明治・大正期滋賀県における人の移動, 滋賀大学経済学部（『研究年報』25、77-108頁), 2018年11月
⑤ 初期高等商業学校における経済学教育：1893年までの東京高等商業学校における「經濟」と「統計」, 滋賀大学経済学部（『研究年報』27、13-24頁), 2020年12月

Ⅲ　指導可能なテーマ

近代における人の移動（移民）、教育制度・政策、経済学・商学教育の歴史的研究

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002507_ja.html?k=%E5%9D%82%E9%87%8E
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は, 入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

福 浦 厚 子　　教 授　　博 士（ 人間・環境学 ）

Ⅰ　研究テーマ

呪術や儀礼，宗教運動などに関する文化人類学的研究を行っている。また，ジェンダーの視点からの研究方法を取り入れている。地域としては主にシンガポールであるが，日本に関しても関心をもっている。

Ⅱ　著作リスト

① （著書）『都市の寺廟――シンガポールにおける神聖空間の人類学』，春風社，2018年3月
② （共編著）The Japanese self-defense forces and cinematic productions: resonance and reverberation in the normalization of organized state violence. Jennifer Coates & Eyal Ben-Ari eds., Japanese Visual Media: Politicizing the Screen, pp. 161-179, London: Routledge. 2021年8月
③ 「シンガポールの寺廟祭祀における主席・道士・童乩」，『文化人類学』第79巻第3号，2014年12月
④ “Charity Activities and Social Infrastructure: A Case Study in Singapore”, Working Paper No.190, Faculty of Economics, Shiga University, 2013年5月

Ⅲ　指導可能なテーマ

宗教について文化人類学的な手法で研究することやそれに類するテーマでの研究。また日本での宗教や信仰に関連した文化人類学的な研究に関しても，検討したい。
希望する研究テーマが指導可能かどうかに関して，事前に確認をしていただけると助かります。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002508_ja.html?k=%E7%A6%8F%E6%B5%A6
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

府 内 直 樹　　教 授　Ｐｈ．Ｄ．（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

戦略的状況（ゲーム）や個人の意思決定問題における適応的学習者の長期的な行動を理論的に分析しています。特に、理論経済学、実験経済学、心理学、機械学習などで提案された学習モデルを用いて、学習者の行動が収束する条件や、長期的な行動と（伝統的な）経済学の均衡概念（ナッシュ均衡や質的応答均衡など）との関係を理論的に考察しています。

Ⅱ　著作リスト

① Reinforcement learning with foregone payoff information in normal form games, Journal of Economic Behavior and Organization (https://doi.org/10.1016/j.jebo.2022.06.021), 2022年8月
② Convergence results on stochastic adaptive learning, Economic Theory (https://doi.org/10.1007/s00199-018-1150-8), 2019年11月
③ An adaptive learning model with foregone payoff information, The B.E. Journal of Theoretical Economics (https://doi.org/10.1515/bejte-2013-0043), 2014年4月
④ An adaptive learning model in coordination games, Games (https://doi.org/10.3390/g4040648), 2013年1月
⑤ Stochastic adaptive learning with committed players in games with strict Nash equilibria, Discussion Paper Series E, 滋賀大学, 2023年11月

Ⅲ　指導可能なテーマ

（行動）ゲーム理論やミクロ経済学に関する理論的な研究であれば、指導が可能です。実験経済学や行動経済学の知見を用いた研究にも取り組んでいますが、経済実験によって得られたデータの分析は行っておりませんので、データ分析に関する指導は難しいかもしれません。ご相談はEメールにてお願いいたします。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002980_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

松 下 京 平　　教 授　　博 士（ 人 間・環 境 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

環境と経済に関わるテーマを全般的に研究しています。研究対象は，自然，エネルギー，地域づくり等を射程としています。主に，統計データを用いた定量的な研究を主に行っていますが，現地調査・インタビュー調査等から定性的な研究も場合に応じて行っています。

Ⅱ　著作リスト

① Solution of trade-offs between food production, water use, and climate change mitigation in global agriculture, Sustainable Development, 2023年
② Incorporating traditional ecological knowledge into holistic watershed management: Fishery forests in Japan, Ecological Economics, 204, 2023年
③ Shadow Value of Ecosystem Resilience in Complex Natural Land as a Wild Pollinator Habitat, American Journal of Agricultural Economics, 100(3), 2018年
④ Linkage between Crop Diversity and Agro-Ecosystem Resilience: Nonmonotonic Agricultural Response under Alternate Regimes, Ecological Economics, 126, 2016年
⑤ Pollution from the Electric Power Sector in Japan and Efficient Pollution Reduction, Energy Economics, 34(4), 2012年

Ⅲ　指導可能なテーマ

環境と経済に関連する研究であれば，概ねのテーマで指導可能です。日本国内を対象とした 研究でも，海外を対象とした研究でも指導可能です。自然科学的な視点から環境にアプローチする手法については指導対象外です。必要に応じて，メールで希望する研究テーマが指導可能かどうかを確認していただければと思います。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002482_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

松 田 有 加　　教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

国際課税、および、スウェーデンの税制について主に研究しています。

Ⅱ　著作リスト

① （分担執筆）グローバルタックスガバナンスへのアメリカのパワーの影響――「BEPS2.0」第2の柱を素材として，諸富徹・宮本十至子・篠田剛編『デジタル時代の税制改革』ミネルヴァ書房，2024年
② 税源浸食と利益移転プロジェクト行動１第２の柱における国際課税原則と課税権の変容，『彦根論叢』第429号，2021年
③ スウェーデンにおける勤労所得税額控除のワーキングプア対策としての可能性，『彦根論叢』第415号，2018年
④ スウェーデンにおける租税支出，『彦根論叢』第410号，2016年
⑤ （分担執筆）国際租税制度と租税競争，植田和弘・新岡智編『国際財政論』有斐閣ブックス，2010年

Ⅲ　指導可能なテーマ

財政学に属するテーマであれば指導可能です。必要に応じて、希望する研究テーマが指導可能かメール等で確認してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002424_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

松 田 有 加 里　　准 教 授　　博 士（ 経 営 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

史料を紐解き，近江商人の商家に固有の簿記法と経営活動における役割，店内教育の実態等に関する研究を行っています。商家経営の実態を知るために，会計史料だけでなく日記・手紙類も併せて分析しています。

Ⅱ　著作リスト

① 江戸時代のわが国固有の帳合法（簿記法）の研究―19 世紀中井家仙台店及び石巻店の店卸目録の分析から―，日本簿記学会『日本簿記学会年報』第 31 号，2016 年 7 月

② 19世紀江州柴谷家における松前交易と会計記録・報告機構に関する研究―「勘定帳」を中心とした会計帳簿の分析―，日本会計史学会『会計史学会年報』第37号，2020年10月

Ⅲ　指導可能なテーマ

江戸時代における近江商人の商家に固有の簿記法，経営状態に関する研究であれば指導可能です。必要に応じて，メールで連絡をとり，希望する研究テーマが指導可能か否かを確認してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003004_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

御 崎 加 代 子　　教 授　　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

ワルラスの経済思想、フランス経済学史、一般均衡理論の歴史的側面、アントレプレナーシップの経済思想

Ⅱ　著作リスト

① （著書）Léon Walras’s Economic Thought: The General Equilibrium Theory in Historical Perspective, London & New York: Routledge, 2024年
② Walras on Sympathy. Revue d’histoire de la pensée économique, n° 15, 2023年
③ 「ワルラスからシュンペーターへ―アントレプレナーシップの歴史的・思想的背景―」, 『組織科学』第56巻2号, 2022年12月
④ Léon Walras and The Wealth of Nations: What Did He Really Learn from Adam Smith?”, The European Journal of the History of Economic Thought, 28-3, 2021年
⑤ The Concept of Labor Market in Léon Walras’ Pure, Social and Applied Economics, Œconomia, 8-4, 2018年

Ⅲ　指導可能なテーマ

経済学史にかかわるテーマ。経済史は専門外です。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002418_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

宮 西 賢 次　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

財務諸表分析、とくに「不正会計検出モデルの研究」や「無形資産と企業価値との関連性に関する分析」、そのほか機械学習やAIアルゴリズムを応用したデータ分析。

Ⅱ　著作リスト

① （共著書）『AI 監査の基本と技術』, 中央経済社, 2024 年
② 「テクノロジー駆動型不正会計検出システムの構築に向けて」, Pwc’s View. データアナリティクスの最前線, 2018
③ （共著書）『管理会計のフロンティア』, 中央経済社, 1994 年
④ （共著書）『財務会計のフロンティア』, 中央経済社, 1993
⑤ 「キャッシュ・フロー指標と主成分分析--業績評価に関連して」, 大阪大学経済学, 1990

Ⅲ　指導可能なテーマ

企業の業績評価、企業価値評価手法の研究、無形資産の価値関連性、機械学習や統計解析手法を応用した不正会計の検出など。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002464_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

宗 野 隆 俊　　教 授　　博 士（ 法 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

日本およびアメリカ合衆国の地方自治、市民の政治参加に関する研究。

Ⅱ　著作リスト

① （著書）『近隣政府とコミュニティ開発法人　アメリカの住宅政策にみる自治の精神』,ナカニシヤ出版, 2012年12月
② （共編著）『地域自治の最前線　新潟県上越市の挑戦』, ナカニシヤ出版, 2013年11月
③ 「アメリカにおける自治体設立（自治体法人化）と公共サービス」, 名和田是彦：宮﨑伸光編『地方自治基礎理論の探求』、法政大学出版局、73～96頁, 2025年3月
④ 「コミュニティ開発法人（CDCs）とアフォーダブル住宅」, 『都市計画』365号, 2023年11月
⑤ 「シビック・エンゲージメントからコミュニティ政策を考える」, 『コミュニティ政策』17号, 2019年7月

Ⅲ　指導可能なテーマ

日本とアメリカの地方自治制度、市民の政治参加、政治学の知見を活かす公共哲学研究等につき、指導ができます。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002483_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は, 入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

村 松 郁 夫　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

ストックオプションやESOPなどの株式報酬制度の変遷，証券取引所における市場構造の見直しなど，近年の法律や制度改正が経営者の財務的意思決定にどのような影響を及ぼすかについて，理論的研究および実態調査を行っている。

Ⅱ　著作リスト

① （共編著）構造変革期の企業財務，千倉書房，平成 10 年 2 月
② （共著）わが国企業の組織再編の動向，甲南経営研究，第52巻，第1号，平成23年7月
③ わが国におけるストックオプションの権利行使状況，彦根論叢，第395号，平成25年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

コーポレート・ファイナンスにおける主要領域である資本調達，投資決定，ペイアウト（利益処分および自己株式取得）などの理論および制度については指導可能です。ただし，会計学を主領域とするテーマ，数理ファイナンスや実証分析ついては，指導対象外とします。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002472_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

森　宏一郎　　教授　　Ｐｈ．Ｄ．（環境経済学・環境マネジメント）

Ⅰ　研究テーマ

生態・環境・経済モデルをベースにしながら，都市・農村の相互作用とサステイナビリティの研究，環境配慮行動の促進・伝播の研究を行っています。モデル分析，コンピュータ・シミュレーション分析，実験手法，超学際的アプローチとしての現地フィールド調査手法を使って取り組んでいます。

Ⅱ　著作リスト

① （編著）Living in the Megacity: Towards Sustainable Urban Environments, Springer, 2021年
② （編著)メガシティとサステイナビリティ，東京大学出版会，2016年
③ （編著）人にやさしい医療の経済学，信山社,2013年
④ Does Information about Personal Emissions of Carbon Dioxide Improve Individual Environmental Friendliness? A Survey Experiment, Sustainability, 13巻 2284号, 2021年
⑤ Effectiveness of Incorporating the Concept of City Sustainability into Sustainability Education Programs, Sustainability, 11巻 4736号, 2019年

Ⅲ　指導可能なテーマ

サステイナビリティ学，環境経済学，都市と農村の相互作用に関わる研究であれば，理論的研究でも実証的研究でも事例研究でも指導可能です。コンピュータ・シミュレーションや実験手法を使用するものでもかまいません。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002297_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

山 下 悠　　准 教 授　　博 士（ 商 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

主にミクロ経済学を用いて，流通システムやマーケティング活動の分析を行っています。
また，インターンシップや起業家教育など教育に関する分野の研究も行っています。

Ⅱ　著作リスト

① （共編著・論文）Revenue versus incentive:Theory and empirical analysis of franchise royalties, Journal of the Japanese and International Economies Vol.34, 2014年12月
② フランチャイズ契約におけるロイヤリティ構造―産業間の実態比較―，国民経済雑誌，208巻，2013年12月
③ （共編著・論文）商業施設から見た「ファスト風土化」の可能性-京都市のケースを手がかりに-，滋賀大学経済学部研究年報，20巻，2013年11月
④ （共編著・論文）Franchise Fees and Royalties:Theory and Empirical Results, Review of Industrial Organization Vol.40 2012年5月
⑤ （共編著・論文）The logic of franchisecontracts: Empirical results of Japan, Japan and the World Economy Vol.22, 2010年8月

Ⅲ　指導可能なテーマ

経営学が取り扱う分野のうち，流通システム・マーケティング・消費者行動など商業に関わるテーマや，起業家や中小企業の経営者などに関するテーマであれば指導可能です。研究方法の視点から述べると，ミクロ経済学を用いた数学モデル分析や，アンケートやインタビューなどによる実証研究については指導可能ですが，ケーススタディは専門外ですので指導ができません。事前に，希望する研究テーマおよび研究方法が指導可能かどうかをメールでお問い合わせいただければ幸いです。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002473_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

山 田 和 代　　教 授　　博 士（社 会 科 学）

Ⅰ　研究テーマ

戦後日本の労働史について研究をしています。とくに賃金制度史に関心をもち研究を始め，労働観・賃金観や労働組合の女性組織の運動について一次資料を用いて分析をしてきました。雇用平等政策と労働市場の構造についても研究しています。最近では，若年女性の生活の質について共同研究を行っています。

Ⅱ　著作リスト

① （共著論文）"Rethinking Family Inclusion in Japan: What Raises the Quality of Life of Young,Unmarried Women Living with Parents?"，『女性学研究』（大阪府立大学）29号，2022年
② 「労働社会の変化とリスク」，『リスク社会の家族変動』放送大学教育振興会，2020年
③ 「労働運動にみる男女雇用平等実現への課題：均等法制定前後の総評婦人局の諸相から」，『大原社会問題研究所雑誌』（法政大学大原社会問題研究所），635・636号，2011年

Ⅲ　指導可能なテーマ

日本の労働史に関する歴史的制度分析からのアプローチであれば概ね指導可能です。なお，計量的データ分析は指導対象外ですので注意して下さい。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002430_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

横 山 幸 司　　教 授　　博 士（ 学 術 ）

Ⅰ　研究テーマ

地方自治に関する研究、特に行政経営改革（総合計画、業務の棚卸し、事務事業の見直し、補助金等歳出の見直し、行政評価、PPP/PFI、指定管理者制度など）に関する実証的研究を行っています。

Ⅱ　著作リスト

① （編著）「図解版 行政経営改革の理論と実務」，サンライズ出版，2024 年 5 月
② （編著）「行政経営改革の理論と実務」，サンライズ出版，2023 年 3 月
③ （編著）「コロナ時代を生き抜く自治体経営論」，サンライズ出版，2022 年 3 月
④ （編著）「行政経営改革の要諦」，サンライズ出版，2020年6月
⑤ 「失われた30年における自治体経営ならびに自治体と郵便局のデータ分析試案」，（一社）通信研究会，2025年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

地方自治体地方自治体を対象とした地域政策や行政経営改革に関する実証的な研究、政策提言型の研究について指導が可能です。フィールドワークや事例調査は必須と考えてください。
なるべく、事前にメール等でコンタクトを取って希望する研究テーマが指導可能か確認してください。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002304_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

吉 田 裕 司　　教 授　博 士（ 経 済 学 ）

Ⅰ　研究テーマ

優先順位としては、国際金融論、国際マクロ経済、国際貿易、ファイナンスの順で、実証研究を中心に行っています。その中でも特に強い関心を持っているテーマは、為替レートと価格の関係を示す「為替レートパススルー」の研究、経常収支(貿易収支や所得収支)のダイナミクスの研究、為替政策や金融政策が経済に与える影響の研究があります。

Ⅱ　著作リスト

① (査読あり, 共著論文) Can exchange rate pass-throughs be perverse? A robust multiple-prior Bayesian SVAR approach, Economics Letters, 247, February 2025, 112116, 2025年2月
② (査読あり, 共著論文) Bilateral Invoicing Currency Ratios: A methodology to calculate them from unilateral invoicing currency ratios, Economics Letters, 247, February 2025, 112116, 2025年2月
③ (共著論文) Invoice Currency Choice in Intra-Firm Trade: A Transaction-Level Analysis of Japanese Automobile Exports, NBER Working Paper, 32142, 2024年4月
④ (査読あり, 共著論文) Exchange rate pass-through on Japanese prices: Import price, producer price, and core CPI, Journal of International Money and Finance, 123(May), 102599, 2022年5月
⑤ (査読あり, 共著論文) Automobile exports: Exchange rate, export price, and retail price, World Economy, 47(2), 519-543, 2024年2月

Ⅲ　指導可能なテーマ

国際金融論、国際貿易、国際マクロ経済、ファイナンスに関わる実証研究。大学院で研究したいテーマに関しての相談は、事前にメールで連絡をください。より良いテーマになるためのアドバイスも致します。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002445_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

和 田 佳 之　　准 教 授

Ⅰ　研究テーマ

ミクロ経済学を主要な分析手法として，非市場的な人間活動（例えば法律問題や環境問題，政治的行動等）を，当事者の経済的動機に着目しながら解明し，社会的に望ましい状態を誘導するために必要な社会制度を導出する。

Ⅱ　著作リスト

① “Consumer’s Car Choice in the face of Subsidies related to Fuel Types”，Science for Environment & Sustainable Society （滋賀大学環境総合研究センター研究年報），第21巻第1号，2024年8月
② “Are Deposit-Refund Systems Superior to Other Externality Collective Policies?：A Simple Partial Equilibrium Approach”，Science for Environment & Sustainable Society，（滋賀大学環境総合研究センター研究年報），第7巻第1号，2018年8月
③ “Re-Examination of the Efficiency of the Joint and Several Liability System”，Science for Environment & Sustainable Society，（滋賀大学環境総合研究センター研究年報），第15巻第1号，2010年8月
④ “Connecticut and Its Environmental Policies”，The Annals of Human and Social Sciences（滋賀大学経済学部研究年報），第10巻，2003年12月
⑤ “An Interpretation of Voting as a Collective Action”，The Hikone Ronso（彦根論叢），第340・341号，2003年3月

Ⅲ　指導可能なテーマ

ミクロ経済学を基盤とする理論分析（いわゆる応用ミクロ経済分析）に属する研究であれば，基本的に指導が可能です。ただし，英文の学術雑誌を読解できる英語力および数学の基礎的素養を前提とします。その上で，自ら実証分析を実行する意欲をもっていることを歓迎します。事前コンタクトを希望する場合には，入試課を経由して下さい。

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002432_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

渡 邉 凡 夫　　教 授

Ⅰ　研究テーマ

GIS-災害時の集団行動のための情報収集
GIS-マン・ナビゲーション研究
ヒューマン・インターフェース-似顔絵の研究

Ⅱ　著作リスト

① T.Watanabe, T.Niwa and N.Ishii, “Reconstruction of Polyhedral Object,” Proc. of International conference of Image Processing, pp.203-211, September 1992
② T.Watanabe and N.Ishii, “The Design of GIS interface for Map Recogntion Based on Linguistic Descriptin,” Proceeding of IATED International Conference of Simulation and Modelling, pp.183-187, May 1993
③ T.Watanabe, N.Shimokawa, K.Satoh, T.Niwa and N.Ishii, “A Trisl Construction of GIS for the Calculation of Fixed Tax,”Proceeding of IATED International Conference of Simulation and Modelling, pp.284-288, May 1994
④ T.Watanabe, N.Shimokawa, K.Satoh, T.Niwa and N.Ishii, “A Study of Generation of Road Graph Network from Color Analog Map,”Proceeding of IATED International Conference of Simulation and Modelling, pp.284-288, May 1996
⑤ T.Watanabe, N.Shimokawa, K.Satoh, T.Niwa and N.Ishii, “An Extraction of Icons from Color Analog Map and an Identification of Road Graph Network,” Proceeding of IATED International Conference of Simulation and Modelling with AAAI, pp.85-88, August 1997

Ⅲ　指導可能なテーマ

経済学でのAIに関わる内容

Ⅳ　教員紹介ＵＲＬ

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002498_ja.html
※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。